

広報

2025
令和7年



奥出雲 12

No.249

奥出雲町
大切なものは奥出雲にある OKUIZUMO

すべてあつぶ 教

はじめに

イスブレイクゲーム

6. 休憩
7. ワーク
8. 講義
9. 振り返り
片付け



すべてあつぶ教室開催!

今月号の主な内容

令和7年度島根県各種功労者表彰	2
奥出雲の未来を育む!スポーツ少年団のチカラ 第3弾	4
これからの奥出雲町の幼児教育・保育について 第3弾	5
民生児童委員さんが決定しました	6・7
確定申告の準備はお早めに!!	10・11

パパ・ママを応援する子育て支援プログラム「すべてあつぶ教室」を今年も全5回で開催しました。受講中は保育士等がお子様をお預かりし、安心して参加いただけます。

効果的な声掛けや接し方のコツ、日ごろの関わり方を振り返るワーク、グループでの意見交換などを通し、実践しやすい子育てのヒントを学びあいました。

株式会社ガット様から ご寄附をいただきました

町内で精密機器部品の製造を手がける株式会社ガット様より、町に対し300万円のご寄附をいただきました。

同社から教育支援としてのご寄附は、令和3年から始まり、今 年で5年目となります。

10月20日には、役場仁多庁舎で贈呈式が行われ、吉見淳一代表取締役から糸原町長へ日録が贈られました。

この度いただきましたご寄附は、第2次奥出雲町総合計画に掲げている子育てが幸せにできる「まち」の実現に向け、教育施策の充実に活用してまいります。



▲吉見代表取締役(右)

奥出雲町商工会様から 横田小学校に ご寄附をいただきました

11月13日、奥出雲町商工会様より横田小学校へご寄附を頂きました。

商工会様は、奥出雲町の商工業の振興や社会福祉の向上を目指しておられ、経営改善普及事業、創業・経営革新の支援、地域産業の活性化などに取り組まれています。

当団は、植田良二会長をはじめ、14名の商工会加入代表者が仁多庁舎を訪問され、糸原町長と千原横田小学校長へ日録が贈呈されました。

植田会長は「奥出雲町の将来を担う子どもたちが元気に活躍することに、少しでも力になつていいたい」と話されました。また、「いただきました寄附金は、横田小学校の教育環境の充実に活用してまいります。



▲奥出雲町商工会の皆様



奥出雲町水道事業運営委員会から 感謝状贈呈式

奥出雲町水道事業運営委員会は今年8月に設置され、町長から諮問された水道料金の見直しに対しても、4回にわたりご審議いただきました。

11月14日には、「水道は町民生活に欠かせないライフラインとしての役割を担つており、後世に問題を先送りすることなく、町民全員で維持していくかなければならない」とから、今後も持続可能な運営を図るため、基本料金20%、従量料金10%の値上げを実施し、料金の改定後5年程度を目途に検証を行い、適正な料金水準の維持に努められたい」との答申をいただきました。

また、「使用水量の少ない高齢者、単身世帯などを考慮し、基本水量の引き下げや基本料金の見直しの検討」、「経営状況や大規模事業の進捗について町民への積極的な情報公開や、国・県に対して補助率の拡充、水道水の安全確保に向けた積極的な要望活動の実施をお願いする」などの意見が付されました。



▲答申書を読み上げる
植田良二委員長(中)、石原一志副委員長(右)



地方自治功労
藤原充博さん(阿井)

平成17年から通算5期20年にわたり、奥出雲町議会議員を務められた藤原充博さん。藤原さんは、議会活性化特別委員会委員長などを歴任され、令和元年からは奥出雲町議会議長に就任され、地方自治の発展に尽力されたことが評価されました。

天皇陛下へ 仁多米コシヒカリを献納

宮中で行われる「新嘗祭」で用いられる新穀の献納が10月22日に行われました。新嘗祭は、天皇陛下が新穀を神々に捧げるとともに、自らも口にされて、五穀豊穣と国家国民の安寧をお祈りされる宮中祭祀で、毎年11月23日に執り行われています。

献穀者である野原幸雄さん・栄子さんご夫婦(大馬木)と糸原町長、島根県農林水産部山本部長が皇居にて、天皇陛下へ仁多米「コシヒカリ」を献納し、御会釈の際には、陛下より今年の作柄などについてお尋ねがありました。

改めて、大役を務めあげられた奉耕者の野原さんご夫妻及びご協力いただいた関係者皆様に對し、心から敬意を表するとともに、感謝申しあげます。



▲皇居前で撮影 (左から) 山本拓樹 島根県農林水産部長、野原幸雄さん、野原栄子さん、糸原町長

新嘗祭献穀者への 感謝状贈呈式



▲(左から) 奥出雲仁多米株式会社 藤井健史 本部長、丸山達也 島根県知事、野原幸雄さん、野原栄子さん、糸原町長、旭自治会長 唐桶高壽さん

第18回雲南地区交通安全大会開催 「雲南地区に無事故の灯がともる」

11月26日、第18回雲南地区交通安全大会が奥出雲町立町民体育館で開催され、奥出雲町、雲南省、飯南町の交通安全協会関係者など約200人が出席しました。

オープニングは島根県警察音楽隊が、迫力のある演奏と交通安全のメッセージで会場を盛り上げました。

雲南地区交通安全協会の高橋雅彦会長は、「交通事故が1件でも減少するよう、地域住民が一体となり、安全で安心できる雲南地域の実現に取り組んで参りました」と挨拶されました。

その後、各種表彰と感謝状の授与が行われ、奥出雲町からは、中国四国管区警察局長・中国五県交通安全協会会長連名表彰の功労者に唐桶高壽さん(馬木)、優良運転者に石原信夫さん(亀嵩)、全日本交通安全協会会長表彰(交通安全賞章・緑十字銅章)に内田雅人さん(三成)が受賞され、会場からは交通安全に貢献された皆様へ大きな拍手が送られました。

また、雲南地区交通安全協会の川角邦生副会長が大会宣言を行い、満場一致の拍手によって採択されました。大会を通じて、今後も事故のない安心安全な地域づくりを進めていくことを誓いました。

また、雲南地区交通安全協会の川角邦生副会長が大会宣言を行い、満場一致の拍手によって採択されました。大会を通じて、今後も事故のない安心安全な地域づくりを進めていくことを誓いました。



3 広報 奥出雲

2 広報 奥出雲



これからの奥出雲町の幼児教育・保育について

～幼保連携型認定こども園開設に向けて～



A 運営者から入園に関する説明やご案内を適宜実施していく予定です。

Q 4月の開園までに実際に入園する保護者向け

ラザ仁多、横田コミニテイ
センターで開催した保護者向け説明会でいただいたご質問とその回答の一部を要約して掲載しています。

広報6月号、8月号をご覧になつていなの方は、併せてご覧ください。

園の実習教育にも活用する木育施設※へと改修をしますので、施設運営者が管理します。運営者については検討中です。馬木についても地域からの利用要望なども出ていますので、管理方法については地域の皆さんと協議させていただきたいと考えています。また、馬木については水辺の楽校なども活用して自然環境に触れながら感受性や好奇心に

Q閉園後の八川・馬木の園舎の管理はどうなるの?

A 現在、具体的な内容についてリハビリテーション学院、島根大学と検討しているところですが、作業療法の先生の知見や学生の実践の場として、子どもたちの日々の園での生活、あるいは活動の中で特徴や特性を早期に発見したり気づいたりできるようなプログラムを導入していくと考

Q 横田地域の子育て支援センター・放課後児童クラブの運営者はどうなるの？

A 今回整備を進めている木育施設は、認定こども園だけではなく幼稚園の皆さんのがんばり、町外の方にも利用していただける施設にする予定です。

※「木育」とは？

子どもから大人まですべての人を対象に、木に触ることを通じて木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むための取り組み

【お問い合わせ】こども家庭支援課 電話：54-2504

第3彈

出雲の未来を育む!
スポーツ少年団のチカラ

9月・11月号で紹介したスポーツ少年団の第3弾！
今回は「仁多地域ホッケースポーツ少年団」です。
今回も少年団の皆さんのお話を伝えます。

仁多地域ホッケー ペナント



A young girl in a blue t-shirt and red leggings is playing field hockey, running with the ball. A yellow star is overlaid on the image.

7年前に「仁多地域ホッケーアボーツ少年団」に名称変更し、再スタートしました。子どもたちがそれぞれの

●西村悠希さん（阿井小6年）
兄の影響で3歳からホッケーを始め、5歳から本格的に取り組んでいます。ホッケーを通して友達が増え、仲間と切磋琢磨しながら協力してゴールを決めたことが嬉しかったです。現在は最後の大会に向け、どうすれば勝てるかを考えて練習中です。小学校を卒業しても続けたいし、日本代表になつた兄を超える選手を目指しています。

団員数	創部年	年会費	練習日	連絡先
26名	平成30年	1,000円	水曜(18:30 ~ 20:00) 土曜(13:30 ~ 16:00)	090-4702-6919(元山)



湯原式が行われました
11月10日に役場仁多庁舎で国際大会
及び全国大会の激励式が行われ、選手
たちが意気込みを述べました。



横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」



11月6日(日)、1・2年生を対象とした地元企業ガイダンスを実施しました。毎年行われているこのガイダンスには、今年度は21社にご参加いただきました。生徒は自分が希望する3社の企業を回って説明を聞くというスタイルです。生徒たちは、奥出雲にどんな企業があり、どのような仕事が行われているのか、自分に合った企業はあるのかを探っていきます。名前は聞いたことがあっても内容を知らなかつた企業、知っているつもりでも実際に知らない面があつた企業、制服を着させていただき雰囲気を体験できた企業など、新しい発見の連続でした。

1・2年生が参加する形になって2年目となりました。1年生にとっては初めてのガイダンスであり、2年生は昨年に続いて聞く企業や、今年初めて聞く企業など、自分で選んで参加することができました。就職希望者にとっては受験先を選ぶ貴重な機会となり、進学希望者にとっても、将来地元に戻ってきた際の就職先を考えるきっかけとなりました。

何よりも、「奥出雲の企業は熱いー頑張つているー」ということを感じられるガイダンスとなりました。生徒たちにも、この熱さが伝わったのではないかでしょうか。

地元企業ガイダンス開催

ありがとうございました



任期満了に伴い退任された
民生児童委員の皆さん（敬称略）
(地区名・在任年数)

民生児童委員さんが決定しました



民生児童委員の皆さんには、日ごろから地域の身近な相談相手としてご尽力いただいております。
令和7年12月1日から令和10年11月30日までの3年間お世話になる民生児童委員の皆さんが決定しました。
委員の皆さんは次のとおりです。（以下、敬称略）

民生児童委員とは <<<<<<

厚生労働大臣から委嘱される非常勤で無報酬の地方公務員です（任期は3年間です）。
守秘義務が課せられており、児童委員を兼ねています。主な活動は次のようなものです。

地域を見守る

一人暮らしの高齢者や支援を必要とする方などのお宅を定期的に訪問する活動など

一番身近な相談先

皆さんの困りごとや心配ごとについて、ご相談ください

支援へつなぐ

支援が必要な方が、適切な支援を受けられるよう、相談先を紹介したり行政機関などへ情報提供をおこなつたりする「つなぎ役」

奥出雲町民児協だより「縁」（令和8年1月発行）をご覧ください

建退共

KENTAIKYO



主な特長

- 国の制度で安全確実
- 掛金が一部免除
- 電子ポイント方式で手続き簡単

建設業のための 退職金制度 で検索

（独）勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部

TEL 03-6731-2866

農業畜産業振興事業 災害対策備蓄用品品購入費など
仁多・横田地域統合 小学校整備事業、学校教材備品図書等
購入費、文化の景観保護推進事業など
◎その他事業
[2億3195万4千円]

◎教育・文化・スポーツ振興に関する事業
[9196万9千円]
◎観光振興に関する事業
[4982万4千円]
◎人口定住・結婚対策に関する事業
[2億3539万2千円]
◎出産・子育て支援に関する事業
[2億256万7千円]
◎自然環境・環境保全に関する事業
[1億3924万8千円]
保育料無償化事業、妊娠婦健康診査交通費助成事業など
住宅整備支援事業、縁結び活動支援事業など
登山道整備事業、農業遺産推進協議会補助金など
町内観光施設運営費など

活用事業を紹介します

若年世帯等の住宅整備をサポート



町への移住及び定住を促進するため、若年世帯及び転入者が行う住宅整備に対して補助金を交付しました。(新築工事4件、改修工事7件)

保育料の無償化



国の無償化の対象とならない0~2歳児の保育料を無料にしました。

観光施設の高付加価値化



質の高い観光商品の提供やお客様への特別感等を演出し、満足度の高い観光地や持続可能な観光産業を目指すため、観光施設の改修を行いました。

令和6年度 奥出雲町ふるさと応援寄附

寄附金額 **7億7095万円(対前年比4億3943万円増)**
寄附件数 **2万2082件(対前年比8069件増)**

全国の皆様からたくさんの方をいたしました

公表に了承いただきました方を奥出雲町ホームページにてご紹介しております。たくさんのあたたかい寄附を頂き、誠にありがとうございました。

ふるさと納税は、寄附金の使途を指定することができます、令和6年度は次の事業に活用させていただきました。

認知症センター養成講座受講者募集

【講座の内容】

- ① 認知症を学び 地域で考えよう
認知症という病気について、症状・受診・対応の仕方予防など基礎から学ぶ講座
 - ② 認知症世界の歩き方
ストーリー形式の認知症の方が見ている世界をグループでカードを使い考え方学ぶ講座
- *講座の内容については申し込み時にご相談ください

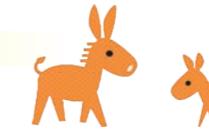
認知症は年齢を重ねれば誰にでも起こりうる身近な病気です。認知症とともに生きる時代の中で自分や大切な人が暮らすために必要なことを学んでみませんか。

【認知症センター養成講座】

対象：認知症に関心のある方ならどなたでも
時間：90分
費用：無料
人数：少人数から可能
講師：奥出雲町キャラバン・メイト
*町内であれば講師が伺います。
施設等使用された場合の経費はご負担いただきます。

【お問い合わせ】

奥出雲町地域包括支援センター
電話：54-2512
有線：31-5000（内線5283）



エココーナー

海岸のゴミというと、漂流ゴミや漁具網・ロープ、船からの落下物など、海上で生じた問題と思われがちです。しかし実際には、海洋ゴミの約8割が川を通じて内陸（上流地域）から流れ込んだもので、道路側溝にたまつたゴミや、農業・工業由来のプラスチック片などが、雨水や河川の流れによって海へ運ばれています。

これらの海洋ゴミの約8割はプラスチック類です。分解されにくいプラスチックは、太陽光・酸素・波の影響で細かく砕け、マイクロプラスチックや、さらには微細になると顕微鏡でしか確認できないナノプラスチックと呼ばれるようになります。こうした微細なプラスチックは、微生物や魚類などに取り込まれ、最終的に人体に取り込まれることがあります。人体への影響としては、消化器系の炎症・内分泌・免疫系の乱れ、喘息、肺炎、がんリスクの増加などが懸念されています。

ポイ捨てされたプラスチック包装やペットボトル、ビニール袋、農業用マルチシートの破片、肥料袋の飛散、建設現場や工場から漏れるプラスチック片、発泡スチロールなどは、風雨によって流されやすく、河川を通じて海に流れ込むことがあります。上流部に住む私たちも、海洋ゴミの原因となるものを出さないよう、日頃から心がけていきましょう。

【お問い合わせ】環境政策課 電話：54-2513

海岸のゴミの8割は
陸で発生したゴミなんですね



有害鳥獣の捕獲・駆除実績

奥出雲町では、有害鳥獣捕獲班の皆さんに有害鳥獣を捕獲・駆除していただいている。令和7年10月の捕獲・駆除頭数実績は次のとおりです。

地域	ニホンジカ	イノシシ	タヌキ	カラス	サギ類	その他
仁多地域	10	9	10	3	1	3
横田地域	19	8	1	0	0	3
合計	29	17	11	3	1	6

※その他は、アナグマ、ヌートリア等の合計です。

有害鳥獣による農作物被害があった場合は、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ】農業振興課 農業生産・鳥獣係
電話：52-2679 有線：20-4000（内線4338）



農業委員会からのお知らせ

知って得する！農業者年金

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！

一定の要件を満たす方には、月額最大**1万円の保険料補助**

保険料は**全額社会保険料控除の対象**など、生涯を通じて大きな節税効果！

終身年金で安心！

詳しくは… 農業者年金基金 検索
<https://www.nounen.go.jp>



確定申告の準備は

お早めに !!



国民健康保険・後期高齢者医療保険に係る医療費通知について



確定申告の医療費控除の手続きに、医療費通知を使用することができます。

送付対象者	被保険者全員
-------	--------

発送内容

国民健康保険	令和7年1月～令和7年12月診療分（令和8年2月中旬 発送予定）
--------	----------------------------------

①上記年間分通知は【封書】で送付します。②別に【ハガキ】年4回（6、9、12、2月）も送付しています。
①、②どちらも内容は同じで、確定申告にお使いいただけます。

後期高齢者医療保険	令和6年11月～令和7年10月診療分（令和8年1月中旬 発送予定）
-----------	-----------------------------------

※令和7年11月～12月診療分の医療費や、医療費通知に記載されていない医療費がある場合は、ご自身で領収書に基づいて別途「医療費控除の明細書」を作成して申告書に添付する必要がありますのでご注意ください。

※療養費（柔道整復、あん摩マッサージ、はりきゅう）については、医療費通知とは別に療養費通知を発送しています。

【お問い合わせ】

健康福祉課 保険係 電話：54-2511 有線：31-5000（内線5121・5123）



所得税（住民税）の確定申告で必要な方へ

障害者控除認定書・おむつ代医療費控除証明書を発行します

①障害者控除認定書

◆申請に必要なもの
該当の方の介護保険被保険者証（写しでも可）

身体障害者手帳の交付を受けていなくても、要介護1～5の認定を受けておられる方は「寝たきり度」、「認知症自立度」の程度により控除を受けることができる場合がありますので、窓口までお問い合わせください。

要介護認定を受けていなくても、医師により障がいをお持ちの方と同等と認められる方は、医師の証明が必要となりますので医療機関へご相談ください。

②おむつ代医療費控除証明書

◆申請に必要なもの
該当の方の介護保険被保険者証（写しでも可）

概ね6ヵ月以上寝たきりで、おむつが必要と認められる方は、医療費控除におむつ代を含める事ができます。

介護保険の認定を受けている方は、役場窓口にて証明書を発行できる場合がありますので、窓口までお問い合わせください。（※介護保険の認定を受けていない方は医師の証明が必要となりますので医療機関へご相談ください。）

③申請場所・期間

- 仁多庁舎 健康福祉課 又は 横田庁舎 税務課
- 令和8年1月15日(木)～令和8年3月16日(月)

※税の申告期限が近づくと窓口が混み合い、認定書等を即時交付できない場合があります。申請はお早めにお願いします。

【お問い合わせ】 健康福祉課 保険係 電話：54-2511 有線：31-5000（内線5124）

所得税確定申告及び町県民税申告相談のお知らせ

令和7年中の所得にかかる申告期間は

令和8年2月16日(月)から令和8年3月16日(月)まで

(土日祝日を除く)

申告相談会場	仁多庁舎タウンホール・横田コミュニティセンター大ホール
--------	-----------------------------

昨年度と同様に、仁多会場→横田会場の順に会場を移動し、申告相談を行います。

日程など詳細につきましては、12月広報に併せて全戸配布する「所得税確定申告及び町県民税申告相談のお知らせ」をご覧ください。

農業所得の事前相談を行います

相談期間：令和8年1月20日(火)～2月6日(金) (土日を除く)

待ち時間の混雑解消のため、各地区ごとに相談日を指定しました。下記日程にて都合のつかない方は、指定日以外でも構いません。ご協力をお願いします。

※期限内に申告ができるように収入・経費の仕分けなど早目の準備をお願いします。

※事前相談を受けられた場合、収支内訳書の内容を確定申告の相談日までにあらかじめ入力しておきます。
申告相談当日、入力待ちの時間が省け、相談時間が短くて済みます。

【会場】前半：仁多庁舎1階タウンホール 後半：横田庁舎3階大会議室

【受付時間】午前9時～午後4時30分

月	火	水	木	金	土	日
	1/20 仁多庁舎 【布勢地区】	21 仁多庁舎 【三成地区】	22 仁多庁舎 【亀嵩地区】	23 仁多庁舎 【阿井地区】	24 休	25 休
26 仁多庁舎 【三沢地区】	27 仁多庁舎 【全町内(9地区)】	28 仁多庁舎 【全町内(9地区)】	29 横田庁舎 【鳥上地区】	30 横田庁舎 【横田地区】	31 休	2/1 休
2 横田庁舎 【横田地区】	3 横田庁舎 【八川地区】	4 横田庁舎 【馬木地区】	5 横田庁舎 【全町内(9地区)】	6 横田庁舎 【全町内(9地区)】		

【お問い合わせ】 税務課 電話：52-2671 有線：20-4000（内線4252）

・今月のピックアップ・

『白鷺立つ』

天明飢饉の傷痕いまだ癒えぬ比叡山延暦寺に、失敗すれば死といわれる(千日回峰行)を成し遂げようとする二人の仏僧がいた。

歴史に名を残すための闘いは、やがて業火となり叡山を飲み込んでいく。

第32回松本清張賞受賞作 異形の歴史小説。

(出版社紹介より記載)

カルチャープラザ「多図書室」

「罪と罪」

堂場 瞳一著
「エピクロスの処方箋」

夏川 草介著
「よくつまづく」「よろけやすい」

人のお助けBOOK

古賀 昭義著

「スマホ時代の『眼』メンテナンス」

「春の星を一緒に」

藤岡 陽子著
「梧桐に眠る」

澤田 瞳子著
「10代のからだといひの」

田上 幸治編著
「介護未満の父に起きたこと」

ジエーン・スー著
「ともだちってどんなもの?」

「おたすけこびととやんちゃなこいぬ」

なかがわちひろ文
「それ犯罪かもしれない図鑑」

小島 洋祐監修

「小泉八雲と怪奇バスターーズ」

栗原 大智著
「日本語の数えかた図鑑」

青木 伸生監修
「世界の納豆をめぐる探検」

高野 秀行文・写真

横田マリヤハ図書室

「春の星を一緒に」

藤岡 陽子著
「梧桐に眠る」

澤田 瞳子著
「10代のからだといひの」

田上 幸治編著
「介護未満の父に起きたこと」

ジエーン・スー著
「ともだちってどんなもの?」

「おたすけこびととやんちゃなこいぬ」

なかがわちひろ文
「それ犯罪かもしれない図鑑」

小島 洋祐監修

「小泉八雲と怪奇バスターーズ」

栗原 大智著
「日本語の数えかた図鑑」

青木 伸生監修
「世界の納豆をめぐる探検」

高野 秀行文・写真

出雲國たら風土記
～鉄づくり千年が生んだ物語～

日本遺産とは平成27年から始まった日本各地の文化や風習、文化財などを「ストーリー」として文化庁が認定したものです。認定された「出雲國たら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～」を語る上で欠かせない文化財として、今回は【出雲神楽】を紹介します。

雲南市には、出雲神話と深いつながりのある場所がたくさんあります。この出雲神話を演目とした神楽は今も地域に受け継がれています。

有名なヤマタノオロチ伝説は、オロチを氾濫する川に見立て、退治したオロチから取り出された剣を鋼(はがね)に、さらに一度オロチに飲み込まれながらも助けられたイナタヒメ(奇稻田姫)を、川の氾濫によって豊かな土地となる稲田に重ね合わせるなど、たら風土記との深いつながりとともに語り継がれてきました。このことから、はるか昔から、たら風土記がこの地域の生活や文化に大きな影響を与えていたことがわかります。

令和8年1月25日(日)には、雲南市木次経済文化会館チエリヴァホールにて、「雲南神楽フェスティバル」が開催されます。ぜひ、お出かけください。

